

パウロのキリスト2

シリーズ・パウロ 第11回

パウロにとってイエスとは ～イエスの呼び方～

- 「主イエス」(23節)
 - 「イエス」単独(12節):最も少ない
- 「キリスト」単独(244節)
 - 「キリスト」は「救い主」の意。称号
- 「キリスト・イエス」(85節)
 - 新約聖書ではパウロしか使っていない
- 「イエス・キリスト」(81節)
 - 「わたしたちの主イエス・キリスト」34回

「キリスト・イエス」という呼び方

- 「キリスト」は「救い主」という意味の称号
 - ユダヤ人が待ち望んでいた救世主
- 「イエス・キリスト」が自然な言い方
 - 「救い主であるイエス」という意味
- パウロはなぜ順序を変えたのか？
 - 「イエスとなられた救い主」という意味となった
- 「キリスト・イエス」は主語にならない
 - 主に前置詞を伴って使われる

「キリスト・イエスによって」15回

- 「キリスト・イエスによって命をもたらす霊の法則」
＜ローマ 8:2＞
- 「主キリスト・イエスによって示された神の愛」
＜ローマ 8:39＞
- 「キリスト・イエスによって神の恵みを受けた」
＜1コリ1:4＞
- 「キリスト・イエスによって得ている自由」
＜ガラテヤ2:4＞
- 「主キリスト・イエスによって実現された永遠の計画」
＜エフェソ3:11＞

「キリスト・イエスに結ばれて」14回

■ 罪を赦されている

- 「今や、キリスト・イエスに結ばれている者は、罪に定められることはありません。」＜ローマ 8:1＞

■ 神の子とされている

- 「あなたがたは皆、信仰により、キリスト・イエスに結ばれて神の子なのです。」＜ガラテヤ 3:26＞

■ 豊かにされている

- 「あなたがたはキリストに結ばれ、あらゆる言葉、あらゆる知識において、すべての点で豊かにされています。」＜ I コリント 1:5＞

原語は同じ

- 「よって」も「結ばれて」も、原語では「エン」、英語の“in”
 - 「中に」「伴って」「～において」
 - 個人的に密接なつながりを表す。コントロール、強い影響。
- 「被われている」「包まれている」「浸されている」「不可分に結ばれている」という状態を「エン」に込めたのでは！
 - 「共に」(with)では表しきれなかった

キリスト・イエスとパウロ

- 「捕らえられている」
 - 「自分がキリスト・イエスに捕らえられているからです。」<フィリピ³:12>
- 「着ている」
 - 「洗礼を受けてキリストに結ばれたあなたがたは皆、キリストを着ているからです。」<ガラ3:27>
- 「生かされている」
 - 「このように、あなたがたも自分は罪に対して死んでいるが、キリスト・イエスに結ばれて、神に対して生きているのだと考えなさい。」<ロマ6:11>

キリスト・イエス

パウロ

赦し

恵み

自由

愛

信仰

豊かさ

命